

北海道医療大学看護福祉学部学会 第13回学術大会のご案内

－メインテーマ－

多職種協働による当事者主体のケア

超高齢社会を迎えた我が国では、病いを抱える高齢の方々も尊厳を保ち、自分らしい暮らしを続けることができるよう、そのの方々（当事者）を主体とした家族や多職種の協働によるケアの提供が求められています。そこで、本学術大会ではメインテーマを「多職種協働による当事者主体のケア」と設定しました。

ご承知の通り、本学では昨年12月に地域包括ケアセンターを開設しました。このことから、午前の部では「地域包括ケアセンターの将来構想」と題して、小林正伸センター長にご講演いただきます。さらに、「特別講演」として、やさしさを伝えるケア技術「ユマニチュード®」の講師としても著名な伊東美緒先生をお招きしました。実践映像もご提示いただく予定ですので、当事者主体の認知症ケアについての目から鱗が落ちるような機会になるかも知れません。また、午後の部では、当事者の「食べる喜び」を切り口に「多職種協働によるベストプラクティス」について、現場の第一線でご活躍されている同窓生の方々による、本学の底力ともいえるシンポジウムを開催いたします。

以上のように、本学術大会が参加された皆様にとって明日からの実践に役立つ、実り多い集会になるものと確信しております。多くの方々のご参加を、心よりお待ちしております。

第13回学術大会長 山 田 律 子（北海道医療大学看護福祉学部）

1. 日 時 2016年9月3日（土曜日） 10：00～（受付：9：30～）

2. 会 場 北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス・ACU
札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階・16階

3. プログラム

【午前の部】（北海道医療大学看護福祉学部同窓会共催セミナー）

10：10～10：40 講 演「地域包括ケアセンターの将来構想」

座長：平 典子（北海道医療大学看護福祉学部長）

講師：小林 正伸（北海道医療大学地域包括ケアセンター長）

10：50～11：40 特別講演「当事者主体の認知症ケア～ユマニチュード®」

座長：山田 律子（北海道医療大学看護福祉学部）

講師：伊東 美緒（東京都健康長寿医療センター研究所）

【午後の部】

11：50～12：20 総 会

13：10～15：00 シンポジウム「多職種協働によるベストプラクティス～食べる喜びを求めて」

座長：大友 芳恵・竹生 礼子（北海道医療大学看護福祉学部）

パネリスト：大久保抄織（介護老人保健施設エル・クォール平和／老人看護専門看護師）

五十嵐あけみ（特別養護老人ホーム青葉のまち・生活支援課長／介護福祉士）

源間 隆雄（札幌麻生脳神経外科病院／主任言語聴覚士）

川上 智史（北海道医療大学個別差医療科学センター長／歯科医師）

15：10～16：30 研究発表

4. 参加費 [学術大会] 事前：会員2,000円、非会員2,500円／当日：一律3,000円（午前の部のみ：無料）

5. 情報交換会 学術大会終了後（17：30～）、ホテル札幌ガーデンパレスに於いて、「情報交換会」を予定しています。引き続き、是非ご参加ください。情報交換会の参加費は3,500円です。

お問い合わせ先 北海道医療大学看護福祉学部学会 第13回学術大会実行委員会

Email: gakkai13kai@hoku-iryo-u.ac.jp（学会事務局）

学会ホームページ <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/>